

月の満ち欠け：朔望

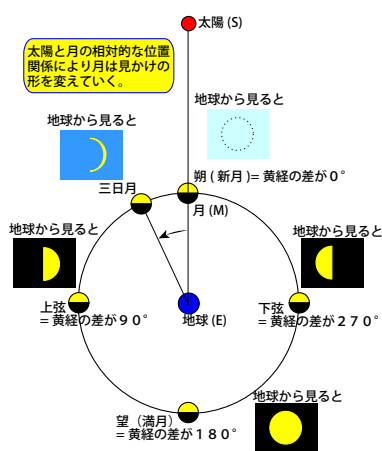


図 1: 朔望のしくみ

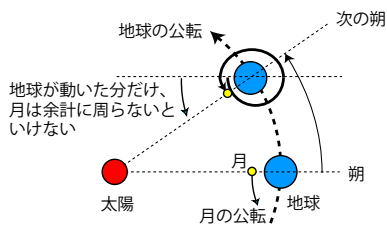


図 2: 朔望周期

中央標準時				世界時	
月	日	h	m	月	日
1	1	4	13	12	31
1	30	15	18	1	30
3	1	1	38	2	28
3	30	11	25	3	30

表 1: 望の時刻 (2010 年)

中央標準時				世界時	
月	日	h	m	月	日
1	2	11	50	1	2
2	1	1	7	1	31
3	2	15	58	3	2
4	1	7	49	3	31

表 2: 望の時刻 (1999 年)

19 太陽年 235(19 × 12 + 7) 朔望月という関係である。これは厳密に成立する関係ではないし、うるう年の入り方にも依存するので一概には言えないが、19 年後には朔望の日付がだいたい元に戻ることになる。結論から言えば、前回このような状況になったのは 1991 年、次回は 2018 年であり、前者は 2010 年の 19 年前、後者は 1999 年の 19 年後という関係になっている。

ところで、1 カ月の間に 2 回満月がある場合、2 回目の満月をブルームーンと呼ぶことがある。ブルームーンというと”once in a blue moon”(珍しい、稀なことの例え) という表現を思いつくが、残念ながらこの”blue moon” は 2 回目の満月のことではない。米国の雑誌 SKY & TELESCOPE に詳しく紹介されているので、詳細は下記の記事を参照されたい。

<http://www.skyandtelescope.com/observing/objects/moon/3304131.html>